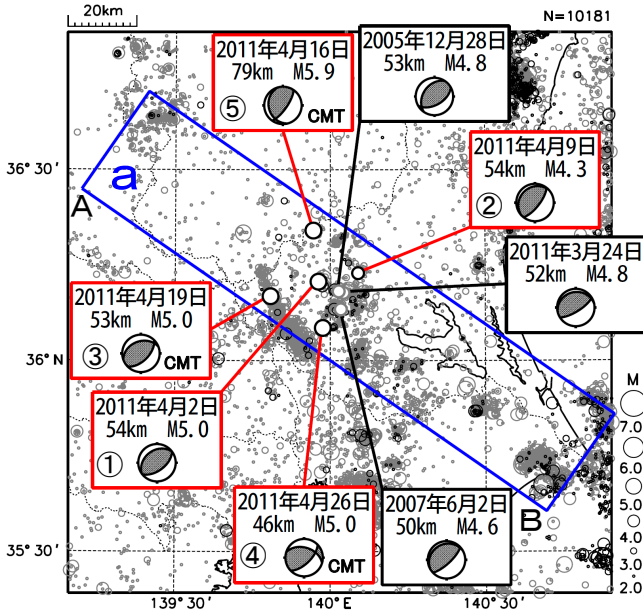


2011年4月の茨城県南部の地震活動

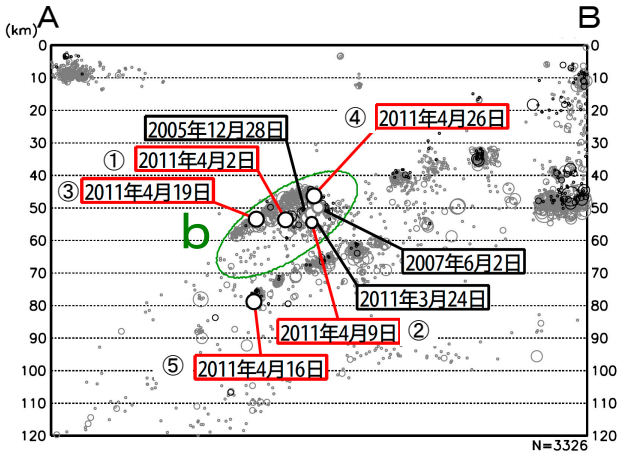
震央分布図（1997年10月1日～2011年4月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 2.0$ ）
2011年4月以降の地震を濃く表示



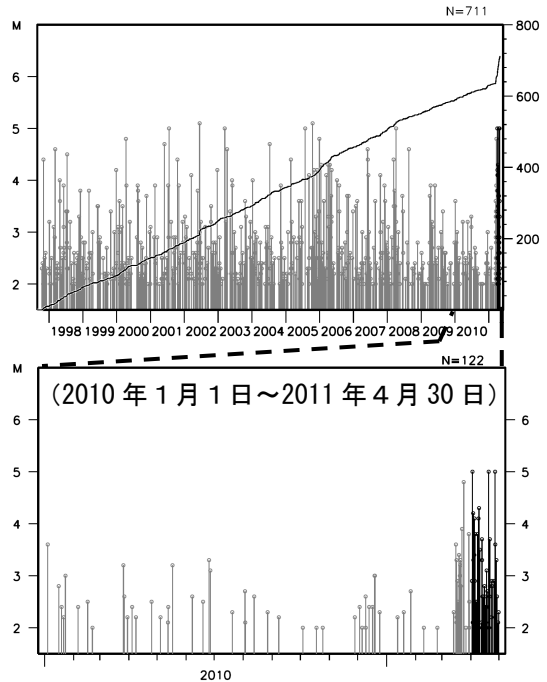
2011年4月2日16時55分に茨城県南部の深さ54kmでM5.0の地震（最大震度5弱）が発生した（①）。この地震の発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。この地震の震源付近では、②9日17時02分、③19日23時10分、④26日21時12分にも最大震度4の地震が発生した。また、4月16日11時19分に茨城県南部の深さ79kmでM5.9の地震（最大震度5強）が発生した（⑤）。この地震の発震機構解は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型（CMT解）である。この地震で、負傷者6名の被害があった（総務省消防庁による）。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺（領域b）では、M5.0程度の地震が時々発生している。

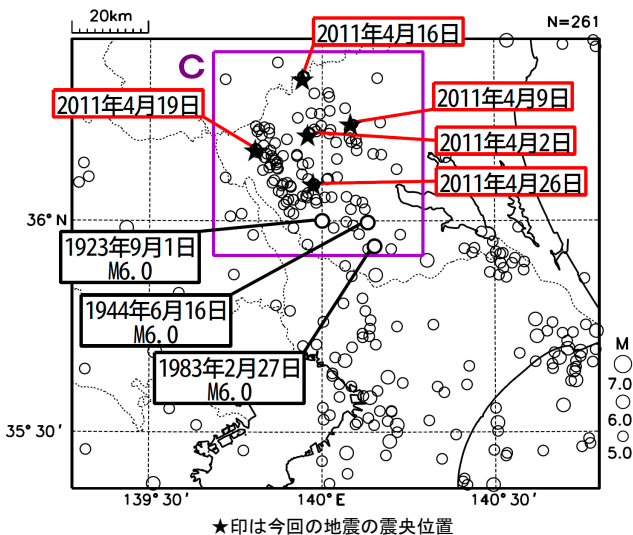
領域a内の断面図（A-B投影）



領域b内の地震活動経過図及び回数積算図



震央分布図（1923年8月1日～2011年4月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$ ）



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）ではM6.0の地震が3回発生している。そのうち、1983年2月27日に発生した地震（最大震度4）では、負傷者11人などの被害が生じた（「最新版 日本被害地震総覧」による）。

領域c内の地震活動経過図

